

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	文学部
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学部における担当授業数および職務分掌の公平化・平均化による研究専念時間の確保と増加を図る。	→ 「文学部各種委員等分担表(数年分)」、「大学執行部役職者一覧(数年分)」、「専任教員の担当授業時間」、「科研費申請数」、「入試問題作成・採点業務分担」	B	B	B		
2. 文学部の授業実態に合わせた教育設備・機器の充実化を行う。	→ 「文学部本館・F号館のAV機器設置状況」、「文学部本館・F号館のコンピューター端末設置状況」、「コンピューター設置状況(他大学との比較)」	A	B	C		
3. 外部研究資金獲得に関する実態調査と、応募促進のための仕組み作りの検討を開始する。	→ 「科研費申請応募・採択状況」	C	B	B		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	教授の担当時間数は約12時間、准教授等は約11時間となっており、平均化が図られているといえる。しかし、教授で18.8時間という例もあり、さらなる改善を行う必要がある(大学データ表3「専任教員の担当授業時間」参照)。
目標2	教育設備・機器に関しては2009年度に大幅な改善が行われたが、それ以降改善のテンポがやや遅くなっているといわざるをえない。
★ 目標3	外部資金の獲得に関しては、2007年度に約21%だった科研費の採択率が2011年度には約44%となり、かなり大きな増加傾向にある(下表および大学データ表24「科学研究費の採択状況」参照)。今後は、「応募促進のための仕組み」を検討し、さらなる向上を図ることが必要となる。
備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【文学部】			単位	2008	2009	2010	2011	2012	備考
指標1	教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、授業補佐の採用数	教学補佐	人	42	40	42	44	43	他に、契約助手2 (2005、2006、2007、2008、2009、 2010、2011、2012年度)
		実験実習指導補佐・教務補佐	人	7	7	7	8	8	
		授業補佐	人	7	6	7	6	8	
指標2	専任教員の担当授業時間(平均)	教授	時間	11.4	11.4	12.6	12.5	12.4	45分をもって1時間に換算
		准教授	時間	11.1	10.0	14.0	11.8	11.2	
		講師	時間	—	—	—	—	—	
		助教	時間	—	—	—	—	—	

(表33)

学部・研究科等	科 学 研 究 費														
	2006年度			2007年度			2008年度			2009年度			2010年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
神学部	2		0.0	1		0.0	3	1	33.3	4		0.0			
文学部	11	2	18.2	14	3	21.4	15	1	6.7	14	8	57.1	14	4	28.6
社会学部	6	2	33.3	6	3	50.0	14	6	42.9	12	7	58.3	12	4	33.3
法学部	7	4	57.1	6	3	50.0	6	4	66.7	5	2	40.0	3	1	33.3
経済学部	9	3	33.3	6	4	66.7	3	1	33.3	7	3	42.9	7	2	28.6
商学部	7	2	28.6	5	2	40.0	3	1	33.3	6	4	66.7	4	1	25.0
理工学部	38	13	34.2	36	8	22.2	35	14	40.0	38	11	28.9	52	16	30.8
総合政策学部	10	2	20.0	10	2	20.0	11	3	27.3	9	2	22.2	12	3	25.0
人間福祉学部										8	3	37.5	13	8	61.5
教育学部													5	2	40.0
国際学部													3		0.0
司法研究科	2	1	50.0												
経営戦略研究科	9	4	44.4	6	3	50.0	3		0.0	7	5	71.4	6	3	50.0
産業研究所															
情報メディア教育センター	1		0.0	2	1	50.0	1	1	100.0	1		0.0			
高等教育推進センター															
言語教育研究センター				1		0.0	1		0.0	1	1	100.0			
教職教育研究センター	1		0.0	2		0.0	4		0.0	2		0.0	2	2	100.0
キリスト教と文化研究センター															
国際教育・協力センター(国際教育プログラム室)										1		0.0	1	1	100.0
災害復興制度研究所	1		0.0	1	1	100.0				1		0.0	2	2	100.0
計	104	33	31.7	96	30	31.3	99	32	32.3	116	46	39.7	136	49	36.0

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入すること。

2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないこと。